



## UCS Server Configuration Utility の起動

UCS Server Configuration Utility (SCU) は 32 ビット Linux カーネルに基づくブート可能イメージです。シスコのラック サーバで BIOS セットアップ、RAID 論理ボリュームの設定、オペレーティング システムのインストール、診断などの操作を実行できます。これは、一度に 1 つのサーバで実行されるように設計されています。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[cisco.com](#) からの ISO イメージの取得」 (P.2-1)
- 「UCS-SCU のブート」 (P.2-2)
- 「UCS-SCU の終了」 (P.2-5)

### cisco.com からの ISO イメージの取得

サーバ用の ISO ファイルをオンラインで検索するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> に移動します。
- ステップ 2** 中央のカラムで **[Unified Computing]** をクリックします。
- ステップ 3** 右側のカラムで **[Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software]** をクリックします。
- ステップ 4** 右側のカラムのサーバ モデルの名前をクリックします。
- ステップ 5** **[Select a Software Type]** リストで、**[Unified Computing System (UCS) Server Configuration Utility]** を選択します。  
[Download Software] ページが表示され、リリース バージョンおよび UCS-SCU イメージが示されます。
- ステップ 6** **[Download Now]** をクリックして ISO ファイルをダウンロードします。
- ステップ 7** 次のページで情報を確認後、**[Proceed With Download]** をクリックします。プロンプトが表示された場合は、[cisco.com](#) の資格情報を使用して、ログインします。
- ステップ 8** 次の画面に進んでライセンス契約書に同意し、SCU ISO ファイルを保存する場所を参照します。

## UCS-SCU のブート

次のいずれかのオプションを使用して、UCS-SCU アプリケーションを起動できます。

- 「Cisco Flexible Flash の使用」 (P.2-2)
- 「仮想メディアの使用」 (P.2-3)
- 「物理メディアの使用」 (P.2-4)

## Cisco Flexible Flash の使用

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco Flexible Flash について」 (P.2-2)
- 「Cisco Flexible Flash からのブート」 (P.2-2)

## Cisco Flexible Flash について

一部の C シリーズ ラックマウント サーバは、サーバソフトウェア ツールおよびユーティリティのストレージとして、内部 Secure Digital (SD) メモリ カードをサポートします。SD カードは、Cisco Flexible Flash ストレージ アダプタによってホストされます。

CIMC 1.5(4) リリース以降、CIMC では SD ストレージ デバイスを単一のハイパーバイザのパーティションとして使用可能です。以前のバージョンでは 4 つの仮想ドライブがありました。ドライブのうち 3 つには、シスコのソフトウェアがあらかじめロードされており、4 つ目のドライブには、ユーザがハイパーバイザまたはその他のコンテンツをインストールできます。(ブート可能)

## Cisco Flexible Flash からのブート

Cisco Flexible Flash カードから UCS-SCU をロードするには、次の手順を実行します

- 
- ステップ 1** 起動時に、ブート選択メニューを開始するには、**F6** キーを押します。  
ブート選択メニューが表示されます。
- ステップ 2** SCU を選択するには、矢印キーを使用し、**Enter** キーを押します。
- 



(注) **F6** ブート選択画面の **[Drivers]** オプションは、ブート可能なオプションではありません。誤ってこのオプションを選択すると、回避策としてサーバを再起動し、異なるオプションを選択する必要があります。**[HUU]** オプションと **[SCU]** オプションは、ブート可能です。

---

## 仮想メディアの使用

仮想メディアを使用した UCS-SCU アプリケーションのブートに KVM コンソールを使用できます。ここでは、次の内容について説明します。

- 「[KVM コンソールについて](#)」 (P.2-3)
- 「[仮想 KVM コンソールの開始](#)」 (P.2-3)
- 「[仮想 KVM コンソールからのブート](#)」 (P.2-4)

## KVM コンソールについて

KVM コンソールは CIMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス (KVM) の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。



(注) KVM コンソールには、Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.5.0 以降が必要です。

KVM コンソールには次のタブがあります。

- [KVM] : このタブには、アプリケーションの起動時に UCS-SCU アプリケーションが表示されます。
- [Virtual Media] : このタブでは、仮想ドライブに次のものを対応付けることができます。
  - コンピュータまたはネットワーク上の CD/DVD
  - コンピュータまたはネットワーク上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
  - コンピュータ上の USB フラッシュドライブ

## 仮想 KVM コンソールの開始

仮想 KVM コンソールを開始するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** CIMC にログインします。
- ステップ 2** [Launch KVM Console] をクリックします。
- 仮想 KVM コンソールにサーバ コンソールが表示されます。
-

## 仮想 KVM コンソールからのブート

### はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージ ファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」(P.2-1) を参照してください。

仮想 KVM コンソールを使用して UCS-SCU アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** デスクトップから CIMC にログインします。
- ステップ 2** KVM コンソールを起動するには、**[Launch KVM Console]** をクリックします。
- ステップ 3** **[Virtual Media]** タブをクリックします。  
[Virtual Media] タブが開きます。
- ステップ 4** **[Add Image]** をクリックします。
- ステップ 5** ISO ファイルを参照して選択し、**[Open]** をクリックしてイメージをマウントします。
- ステップ 6** [Client View] セクションで、追加した ISO ファイルに対応する **[Mapped]** カラムのチェックボックスを選択して、マッピングが完了するのを待ちます。  
KVM コンソールの **[Details]** セクションに進行状況が表示されます。
- ステップ 7** CIMC で **[Power Cycle Server]** をクリックしてサーバをリブートします。
- ステップ 8** サーバが起動したら、**F6** キーを押してブート デバイスを選択します。  
ブート 選択メニューが表示されます。
- ステップ 9** **[Cisco Virtual CD/DVD]** を選択するには、矢印キーを使用し、**Enter** キーを押します。  
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、**[KVM]** タブでアプリケーションを起動します。
- 

## 物理メディアの使用

### はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージ ファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」(P.2-1) を参照してください。
- .iso CD を書き込むアプリケーションを使用して .iso CD 作成します。

物理 CD/DVD を使用してサーバ上でアプリケーションをブートするには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** USB ポート経由でサーバに USB DVD ドライブを接続します。
- ステップ 2** DVD ドライブに物理メディアを挿入します。
- ステップ 3** サーバを再起動し、**F6** キーを押してブート 選択メニューを表示します。ブート デバイスとして **CDROM ドライブ** を選択します。  
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、アプリケーションを開始します。
-

## UCS-SCU の終了

UCS-SCU アプリケーションを終了するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 ディスクドライブからの .iso ディスクを取り出します。
  - ステップ 2 [Reboot] をクリックして、サーバのリブートを確認するために [Yes] をクリックします。
-

